

2026年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年7月9日

東

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社  
コード番号 4187

上場取引所

URL <https://www.ooc.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 安藤 昌幸

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員管理本部長

（氏名） 本田 宗一 (TEL) 06-6264-5071

半期報告書提出予定日 2026年7月9日

配当支払開始予定日

2026年8月3日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期中間期	20,034	15.1	4,424	51.4	4,597	51.2	3,086	44.8
2025年11月期中間期	17,400	13.4	2,922	57.2	3,040	52.9	2,132	5.6

(注) 包括利益 2026年11月期中間期 5,558百万円(183.3%) 2025年11月期中間期 1,962百万円(△10.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	151.76	—
2025年11月期中間期	103.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期中間期	69,552	55,369	78.1
2025年11月期	63,713	50,536	78.0

(参考) 自己資本 2026年11月期中間期 54,335百万円 2025年11月期 49,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2026年11月期	—	43.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	7.5	7,500	21.2	7,700	17.4	5,200	△24.5	255.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) Visnex Chemicals Corporation、除外 1社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年11月期中間期	22,410,038株	2025年11月期	22,410,038株
2026年11月期中間期	2,070,794株	2025年11月期	2,072,767株
2026年11月期中間期	20,338,120株	2025年11月期中間期	20,559,885株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要がある状況で推移しました。原油価格やエネルギー・原材料価格の上昇、物流面での不透明感に加え、輸入コストの上昇を通じた企業収益や家計の実質所得への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下で当社グループは、2024年11月期より2030年11月期までの中期経営計画Progress & Development 2030 (P&D 2030) に取り組んでおります。P&D 2030では、当社グループの経営理念のもと、「特殊アクリル酸エステルリーディングカンパニーとして、グローバル市場に価値を提供する」という経営ビジョンを掲げ、ESGに配慮したサステナブル経営を推進し、企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。化成品事業におきましては、製品の統廃合や生産効率の改善等により利益率の向上に努めるとともに、バイオマス由来等の環境に配慮した製品の拡販に取り組んでまいりました。電子材料事業におきましては、最先端半導体材料の開発を加速するとともに、フォトレジスト材料については新規用途への展開を進めてまいりました。機能化学品事業におきましては、化粧品原料の海外展開の強化や高純度特殊溶剤の拡販に注力してまいりました。また、当社グループの海外拠点である光碩(上海)化工貿易有限公司、韓国大阪有機化学工業および米国のVisnex Chemicals Corporationを通じて、海外における新規顧客の獲得および新市場の開拓を進めるなど、海外販売体制の強化に取り組んでおります。さらに、今後の半導体市場の成長を見据え、酒田工場における先端半導体材料の新規設備建設計画を進めており、将来的な生産能力の拡充および安定供給体制の強化に取り組んでおります。加えて、当中間連結会計期間において、株式会社三宝化学研究所との資本業務提携に合意いたしました。本提携を通じて、両社の有する高純度化技術や開発・製造基盤を相互に活用し、半導体・電子材料分野における開発力および顧客提案力の強化を図ってまいります。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は200億3千4百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は44億2千4百万円(前年同期比51.4%増)、経常利益は45億9千7百万円(前年同期比51.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は30億8千6百万円(前年同期比44.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント間取引を含んでおりません。)

#### ①化成品事業

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループでは、自動車用等の塗料向けおよび光学用途等の粘着剤向けの販売は横ばいに推移した一方、UVインクジェット用を含むインク向けの販売は減少いたしました。また、メタクリル酸エステルグループの販売は低調に推移いたしました。この結果、売上高は66億8千万円(前年同期比2.4%増)、生産効率の向上等により、セグメント利益は12億7千4百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

#### ②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループでは、主力であるArFレジスト用原料の販売は好調に推移し、最先端のEUVレジスト用原料の販売は大幅に増加いたしました。一方、表示材料グループの販売は横ばいに推移し、その他グループの販売は好調に推移いたしました。この結果、売上高は96億8千6百万円(前年同期比23.9%増)、セグメント利益は21億9千3百万円(前年同期比68.4%増)となりました。

#### ③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループの販売は好調に推移し、機能材料グループの販売は大きく増加いたしました。また、子会社における高純度特殊溶剤の販売も好調に推移いたしました。この結果、売上高は36億6千8百万円(前年同期比20.0%増)、セグメント利益は9億9千万円(前年同期比60.4%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて58億3千8百万円増加し、695億5千2百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加11億8千4百万円、売掛金及び契約資産の増加10億7千9百万円、有形固定資産の減少8億7百万円及び保有株式の株価上昇等による投資有価証券の増加33億4千2百万円などによるものです。

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて10億5百万円増加し、141億8千3百万円となりました。これは、主に買掛金の増加10億1千9百万円、長期借入金の減少2億4千万円、未払法人税等の減少8億5千4百万円及び繰延税金負債の増加11億5千5百万円などによるものです。

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて48億3千2百万円増加し、553億6千9百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加22億7千3百万円及びその他有価証券評価差額金の増加22億8千1百万円などによるものです。

### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて8億3百万円増加し、これにVisnex Chemicals Corporation を当中間連結会計期間から連結の範囲に含めたことによる新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額4億3千万円を加え、171億6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、26億2百万円の増加(前年同期は36億5千万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益45億8千6百万円、減価償却費13億2千6百万円、売上債権及び契約資産の増加額11億1千2百万円及び法人税等の支払額21億3百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億5千万円の減少(前年同期は7億1千1百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出8億9千8百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億4千6百万円の減少(前年同期は33億7千5百万円の減少)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出2億7千3百万円及び配当金の支払額8億1千3百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月2日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,922,597	17,106,653
売掛金及び契約資産	11,579,782	12,659,470
電子記録債権	449,027	508,741
製品	4,711,762	4,964,482
仕掛品	2,119,445	2,794,875
原材料及び貯蔵品	2,326,098	2,554,145
その他	717,767	837,337
貸倒引当金	△20,403	△22,868
流動資産合計	37,806,078	41,402,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,846,424	7,591,536
機械装置及び運搬具(純額)	6,042,474	5,474,055
土地	2,172,476	2,163,986
建設仮勘定	325,787	368,692
その他(純額)	441,508	422,966
有形固定資産合計	16,828,670	16,021,237
無形固定資産		
のれん	3,333	—
その他	35,837	33,585
無形固定資産合計	39,170	33,585
投資その他の資産		
投資有価証券	7,544,551	10,887,199
関係会社株式	298,567	—
退職給付に係る資産	1,058,963	1,078,222
繰延税金資産	3,297	963
その他	134,426	128,325
投資その他の資産合計	9,039,805	12,094,711
固定資産合計	25,907,647	28,149,534
資産合計	63,713,725	69,552,373

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,775,037	6,794,591
1年内返済予定の長期借入金	534,082	500,983
未払金	1,914,021	1,479,787
未払法人税等	2,117,602	1,263,124
役員賞与引当金	63,970	22,975
その他	813,791	1,210,798
流動負債合計	11,218,505	11,272,259
固定負債		
長期借入金	803,841	563,638
繰延税金負債	1,014,083	2,169,333
役員株式給付引当金	26,780	69,977
退職給付に係る負債	499	496
その他	113,513	107,475
固定負債合計	1,958,717	2,910,920
負債合計	13,177,222	14,183,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,513,349	3,517,469
利益剰余金	44,177,940	46,451,033
自己株式	△5,326,546	△5,321,523
株主資本合計	45,965,038	48,247,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,140,180	5,421,483
為替換算調整勘定	186,810	268,873
退職給付に係る調整累計額	408,689	397,611
その他の包括利益累計額合計	3,735,680	6,087,968
非支配株主持分	835,783	1,033,949
純資産合計	50,536,502	55,369,194
負債純資産合計	63,713,725	69,552,373

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
売上高	17,400,699	20,034,691
売上原価	11,886,265	12,898,809
売上総利益	5,514,434	7,135,882
販売費及び一般管理費	2,591,489	2,711,485
営業利益	2,922,944	4,424,396
営業外収益		
受取利息	4,099	4,841
受取配当金	70,246	76,003
為替差益	—	45,438
受取保険金	101,270	—
その他	45,763	50,525
営業外収益合計	221,379	176,809
営業外費用		
支払利息	4,395	2,199
為替差損	96,073	—
自己株式取得費用	2,400	—
投資事業組合運用損	506	904
その他	0	114
営業外費用合計	103,376	3,218
経常利益	3,040,946	4,597,988
特別損失		
固定資産除却損	750	3,319
減損損失	—	8,489
特別損失合計	750	11,809
税金等調整前中間純利益	3,040,196	4,586,178
法人税、住民税及び事業税	866,459	1,282,963
法人税等調整額	△35,895	107,701
法人税等合計	830,563	1,390,664
中間純利益	2,209,632	3,195,514
非支配株主に帰属する中間純利益	77,415	108,930
親会社株主に帰属する中間純利益	2,132,216	3,086,584

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
中間純利益	2,209,632	3,195,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189,214	2,288,446
為替換算調整勘定	△49,480	85,797
退職給付に係る調整額	△8,673	△11,357
その他の包括利益合計	△247,368	2,362,886
中間包括利益	1,962,263	5,558,400
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,880,641	5,438,872
非支配株主に係る中間包括利益	81,622	119,528

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,040,196	4,586,178
減価償却費	1,469,128	1,326,302
減損損失	—	8,489
のれん償却額	9,999	3,333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,142	2,475
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,600	△40,995
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△30,677	43,196
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△24,377	△35,839
受取利息及び受取配当金	△74,345	△80,845
受取保険金	△101,270	—
支払利息	4,395	2,199
為替差損益(△は益)	62,892	△116,116
固定資産除却損	750	3,319
投資事業組合運用損益(△は益)	506	904
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△157,934	△1,112,502
棚卸資産の増減額(△は増加)	△123,828	△1,134,842
仕入債務の増減額(△は減少)	230,754	968,047
未払又は未収消費税等の増減額	△427,805	△49,694
その他	533,404	254,324
小計	4,386,046	4,627,934
利息及び配当金の受取額	74,345	80,845
利息の支払額	△4,366	△2,188
保険金の受取額	101,270	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△906,901	△2,103,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,650,394	2,602,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△572,415	△898,047
無形固定資産の取得による支出	—	△1,346
投資有価証券の取得による支出	△120,057	—
その他	△18,740	△1,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711,212	△850,529

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△402,810	△273,302
リース債務の返済による支出	△6,296	△10,024
自己株式の取得による支出	△2,226,503	△115
自己株式の処分による収入	79	—
配当金の支払額	△718,308	△813,490
非支配株主への配当金の支払額	△22,008	△49,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,375,846	△1,146,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101,056	197,505
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△537,721	803,323
現金及び現金同等物の期首残高	13,047,614	15,872,597
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	77,960	430,732
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,587,853	17,106,653

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった Visnex Chemicals Corporation は重要性が増したため、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	3,180,818	6,599,191	2,371,017	12,151,027	—	12,151,027
アジア・豪州	2,315,773	1,159,763	565,277	4,040,814	—	4,040,814
米州	614,824	56,720	106,718	778,264	—	778,264
欧州	414,763	570	15,259	430,593	—	430,593
顧客との契約から生じる収益	6,526,180	7,816,246	3,058,273	17,400,699	—	17,400,699
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,526,180	7,816,246	3,058,273	17,400,699	—	17,400,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	226,432	226,432	△226,432	—
計	6,526,180	7,816,246	3,284,705	17,627,131	△226,432	17,400,699
セグメント利益	1,004,292	1,302,562	617,524	2,924,379	△1,435	2,922,944

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ. 当中間連結会計期間(自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	3,248,903	8,214,228	2,799,052	14,262,185	—	14,262,185
アジア・豪州	2,595,381	1,468,729	812,023	4,876,134	—	4,876,134
米州	547,124	3,218	42,426	592,769	—	592,769
欧州	288,650	—	14,952	303,602	—	303,602
顧客との契約から生じる収益	6,680,060	9,686,176	3,668,454	20,034,691	—	20,034,691
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,680,060	9,686,176	3,668,454	20,034,691	—	20,034,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	288	—	317,191	317,480	△317,480	—
計	6,680,349	9,686,176	3,985,646	20,352,171	△317,480	20,034,691
セグメント利益	1,274,323	2,193,887	990,268	4,458,480	△34,083	4,424,396

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の土地は時価が著しく下落しているため、帳簿価額を減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当中間連結会計期間における当該減損損失の計上額は8,489千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。